

サッポログループ「CSRレポート2010」を刊行

～サッポログループのDNAを活かしたCSRを～

サッポロホールディングス株式会社(本社・東京、社長・村上隆男)では、3月31日に、サッポログループ「CSRレポート2010」を発行しました。

本レポートでは、持株会社のサッポロホールディングスが主体となり、主たる国内事業会社であるサッポロビール、サッポロ飲料、サッポロライオン、恵比寿ガーデンプレイスの「企業の社会的責任(CSR)」に関わる活動について報告を行なっています。

2010年版では、改めてサッポログループのCSRの原点を振り返ったうえで、「食の安全・安心」「地球温暖化対策」「地域社会への貢献」など、本業にかかわる社会的な問題に対する活動や、次世代エネルギーの創造に向けての取組みを、特集として取り上げました。また、各種データもグループ全体での取組みがご理解頂けるよう、出来るだけ情報の開示に努めました。

これからもサッポログループは、『潤いを創造し豊かさに貢献する』という経営理念のもと、お客様に喜んでいただける誠実なグループであり続けます。そして、企業としての発展を目指すとともに持続可能な社会づくりに貢献していきます。

記

1. 名 称 : サッポログループ「CSRレポート2010」
2. 対象組織 : サッポロホールディングス(株)、サッポロビール(株)、サッポロ飲料(株)、(株)サッポロライオン、恵比寿ガーデンプレイス(株)
3. 対象期間 : 報告内容は、基本的に2009年1月1日から12月31日。
4. 仕 様 : A4版 本文56ページ

※本年の表紙の写真は、ドイツ南部の協働契約栽培畑にてサッポロビールのフィールドマンが撮影したものを使用しています。フィールドマンは世界9カ国約2300の協働契約栽培生産者とともに、高品質で安全安心な原料づくりに取り組んでいます。

尚、詳細なデータなどは、8月(予定)よりホームページに掲載します。

(URL:<http://www.sapporoholdings.jp/ecology/>)

以 上